

## ファッション×SDGs ～大量廃棄社会のその先へ～

近年、ファストファッションをはじめ、流行を取り入れて品質も問題ない服が、低価格で購入できるようになりました。私たちが気軽に楽しんでいる服がどうして安く買えるのかご存じでしょうか。服の生産現場では、低賃金での長時間労働、さらに、廃棄することを前提とした大量生産が続けられてきています。現在日本では1年間に10億枚もの新品の服が一度も着られないまま捨てられています。

これまでアパレル業界の労働の実態や構造についてはなかなか問題視されてきませんでした。2013年に起きたバングラデシュでのラナプラザ事件や日本での技能実習生をめぐる報道などをきっかけに、少しずつ知られるようになりました。また、私たち消費者もこの安さは誰かの犠牲の上で成り立っているのではないかと、便利で豊かな社会ではあるけれどこのまま無駄にしてもよいのだろうかを考える機会が増えたように思います。

本講座では、『大量廃棄社会 アパレルとコンビニの不都合な真実』（光文社、2019）の著者であり、アパレル業界の現場を数多く取材してきた二人を講師に迎え、社会が、企業が、そして私たち個人が今できることは何かを探っていきます。

### 講師

#### 仲村 和代(朝日新聞デジタル機動報道部次長)

1979年生まれ。2002年に朝日新聞社に入社し、九州各地で勤務した後、東京社会部で幅広い問題取材。著書に『ルポコールセンター』（朝日新聞出版）など。

#### 藤田 さつき(朝日新聞オピニオン編集部次長)

1976年生まれ。2000年、朝日新聞社入社。大阪社会部、東京本社文化暮らし報道部などを経て、2018年からオピニオン編集部。近年は、消費社会や多様性、家族のあり方などを取材。取材班出版物に『平成家族』（朝日新聞出版）など。



講師：仲村 和代



講師：藤田さつき

### 開催概要

- 日時：2022年5月28日（土）14:00～15:30（13:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：100名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1000円
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、電話（03-3502-3340）いずれかにて、  
①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。



### 〈 お問い合わせ先 〉

千代田区立日比谷図書文化館 広報担当：並木 namiki-yuri@shopro.co.jp、岡本 okamoto-yoriko@shopro.co.jp  
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL:03-3502-3340/ FAX:03-3502-3341  
ホームページ：<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>